

2. 流域及び河川の自然環境

2-1 自然環境

芦田川流域は本州西南部にあたり、自然植生の特徴として、下流域の中州に分布するセイタカヨシ群落、カワヤナギ - アカメヤナギ群落、オギ群落、ヨシ群落を挙げることができる。上流部では、流水の影響のある所にはツルヨシ等のつる性植物が優占しており、流水の影響のない所にはネムノキ、エゴノキが多くみられる。中流部では、両岸の高水敷にはヨモギ、チガヤ、シバの群落が生育し、低水敷にはヨシ、クサヨシの群落が発達し、水湿地植物も出現する。下流部では、チガヤ、ヨモギ、ギョウギシバ、メヒシバが全体に広がっている。

哺乳類の生息についてみると、上流域にはホンドジカが、広い範囲にタヌキ、イタチが生息し、^{こうけいそうほんぐんらく}高茎草本群落にはカヤネズミが生息している。

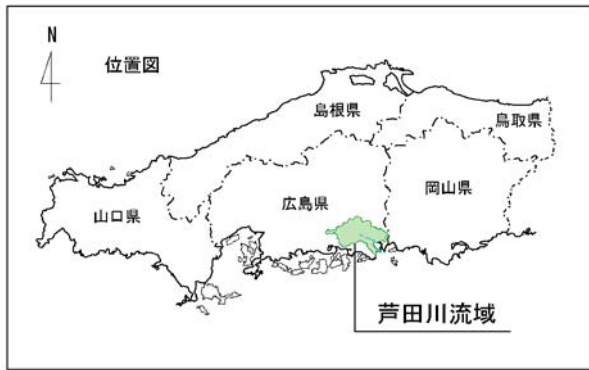
鳥類は、竹林にはサギ類のねぐらが存在し、草地にはヒバリが、高茎草本群落にはオオヨシキリが生息している。

魚類は、緩流域ではオイカワ、カワムツ、フナが多く生息しており、回遊性であるトウヨシノボリが全域で見られる。アユは主に中津原から上流に生息している。また、早瀬にはカワヨシノボリが生息している。貴重な魚種としては、スジシマドリョウ、メダカの生息が確認されている。

両生類は、カスミサンショウウオ、ダルマガエルが生息し、流域の一部には、天然記念物であるオオサンショウウオが生息している。

昆虫類は、ゲンバイトンボ、ハグロトンボ、ゲンジボタル、ナガサキアゲハ、オオムラサキ等の貴重な生物が生息している。

芦田川水系の河川水辺の国勢調査によると、植物は 128 科 718 種、魚介類は 9 目 20 科 51 種、底生動物は 4 目 11 科 18 種、鳥類は 11 科 27 目 74 種、両生類は 2 目 5 科 8 種、爬虫類は 2 目 6 科 9 種、哺乳類は 5 目 7 科 11 種、昆虫類は 16 目 194 科 1186 種が確認されている。



中国地方



図 2-1 芦田川における河川環境区分

2-2 河川の自然環境

(1) 上流部

源流から府中市に至る上流部は、大半がアカマツで優先された標高 500m～600m の世羅台地を緩やかに流れる平地河川の様相を呈し、その沿川には集落が点在し、水田や果樹園等の農地が広がっている。甲山町に入ると、峡谷を流れる山地河川の様相を呈し、兩岸に緑豊かな山々が迫り、特に河佐峡^{かわさきょう}は渓谷美を誇り、早瀬や淵が連続し複雑な流れをみせ、カワラハンノキ、キシツツジ、ヤシャゼンマイ等の渓谷特有の植生が生育しているほか、渓流域を餌場としているカワガラス、キセキレイなどが生息している。魚類では、緩流域に生息する種であるオイカワ、カワムツ B 型、ズナガニゴイがみられ、早瀬に生息する種であるアユ、カワヨシノボリもみられる。底生動物では、川底が石礫の箇所ではフタバコカゲロウ、ウルマーシマトビゲラ、オオシマトビゲラ等が生息している。昆虫では、樹林性の種であるオオハサミムシ等が、両生類では、特定種であるカジカガエル等が、爬虫類では、トカゲ、カナヘビ、ヤマカガシ等が、哺乳類では、コウベモグラ、アカネズミ等が生息している。

また、河口から約 43km には八田原ダムがあり、ダム湖周辺にはアカマツが群生し、貴重な昆虫であるギフチョウも生息している。



河佐峡の様子

出典：福山河川国道事務所資料

[代表的な動植物]



カワムツ



カワガラス



キシツツジ



カワヨシノボリ

出典：「川の生物図鑑」、滋賀県立琵琶湖博物館蔵

(2) 中流部

府中市市街地から神辺平野までの中流部では、多くの支川が合流し、背後のなだらかな山々と河川沿いの平野によって盆地地形を呈し、瀬と淵が交互にみられ、瀬や淵を利用するアユ、オイカワ、ニゴイ等の魚類が生息している。水際や中州にはオギ、セイタカヨシ等に加えて、サギ類の営巣場所となっているヤナギ群落が生息している。また、カワヂシャ、ミゾコウジュ等の河川植生も確認されている。

堤内地より流れ込む水路周辺では、アマガエル、ヌマガエル等の両生類やカナヘビ、シマヘビ等の爬虫類が生息している。底生動物では、川底が石礫である箇所ではシマイシビル等が、昆虫では、比較的明るい水辺で緩流域を好む種であるハグロトンボ、止水域に生息するミズカマキリ等が、哺乳類では、竹林内にキツネ、タヌキが生息している。

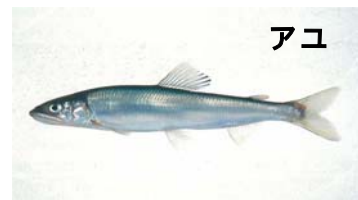


出典：福山河川国道事務所資料

[代表的な動植物]



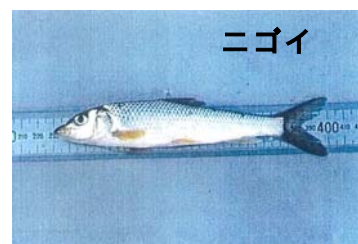
カワヂシャ



アユ



ミゾコウジュ



ニゴイ

出典：「フィールド総合図鑑」
「川の生物図鑑」

(3) 下流部

福山平野が広がる下流部は、堤内地の市街化が進み、高水敷はグラウンド等に人為的な改変がされているものの、寄州や中州にヨシ、オギ、セイタカヨシ等の高茎草本群落が生育し、オオヨシキリの営巣場所となっている。また、中州周辺の流れが穏やかな場所には、近年減少傾向にあるといわれているメダカが多く生息している。

底生動物では、河岸が浅く、川底が砂礫の箇所ではイシガイ、川底が砂泥の箇所ではドブガイが生息し、昆虫では、シオカラトンボ、ヒシバッタ等が生息している。両生類、爬虫類、哺乳類では、堤内地が市街地となっていることから、他の区間と比較して確認される種が少ないものの、ウシガエル、クサガメ、アブラコウモリ等が生息している。



出典：福山河川国道事務所資料

[代表的な動植物]



出典：「川の生物図鑑」

(4) 河口堰湛水域

昭和56年6月に完成した芦田川河口堰湛水域では、緩やかな水面勾配となっており、流れはほとんどなく、一面に雄大な湛水域が出現する。湛水域内には、ゲンゴロウブナ、ハス等の止水域を好む魚類が多く生息し、カモ類が越冬場所や採餌場所として利用している。

植生では、高水敷が運動場等に利用されていることもあり、人工草地や人工裸地が大部分を占めているが、河口堰の右岸には特定種であるミゾコウジュが生育している。底生動物ではサカマキガイ、ハブタエモノアラガイ等が生息している。

[代表的な動植物]



出典：福山河川国道事務所資料



出典：「川の生物図鑑」

(5) 河口域

河口周辺では、左右岸ともに大規模な干潟（砂泥質）が発達しており、瀬戸内海では減少傾向にあるスナガニ、ハクセンシオマネキ等のスナガニ科の仲間やトビハゼ等の干潟特有の種が多く生息している。また、冬季には水際部をユリカモメ、ハジロカイツブリなどが越冬場所として利用している。

堤外地には、まとまった植生はあまりみられないが、昆虫では、アオバハゴロモ、ホシハラビロヘリカメムシ等の草地性の種が多く生息している。



出典：福山河川国道事務所資料

[代表的な動植物]



出典：「川の生物図鑑」

(6) 支川高屋川

支川高屋川は、幹線流路延長 24km の支川であり、川幅が狭く流量が少なく汚濁も進行している。そこには、コウライニゴイや遊泳力が弱いヤリタナゴ等よどみを好む種が多く生息している。

鳥類では、コサギ、アオサギ等のサギ類、セグロセキレイ、ハクセキレイ等が河川内を採餌場所として利用している。河川敷等の植生には、ホオジロ、アオジ等の草地に生息する種が多くみられる。

植生では、セイタカアワダチソウ、チガヤ、メヒシバ等の比較的乾燥した立地に生育するものが多く、底生動物では、川底が石礫の箇所ではカワコザラガイが生息している。堤内地は、住宅地になっていることから、生息している両生類、爬虫類、哺乳類は多くないが、カエル類、ヘビ類、カヤネズミやキツネが生息している。



出典：福山河川国道事務所資料

[代表的な動植物]



出典：「川の生物図鑑」

(7) 芦田川における特定種

芦田川における特定種を、河川水辺の国勢調査等の調査結果をもとに、レッドデータブック・レッドリスト（環境省）記載種、天然記念物指定種等の学術上又は希少性の観点から抽出した。

表 2-1 特定種の選定基準（植物）一覧表

| 番号 | 法令・文献の名称 | 記号 | カテゴリー区分 |
|--------|---|-------|----------|
| 条例・法律 | 文化財保護法（法律第214号）【文化庁 1950年】 | 特天 | 特別天然記念物 |
| | | 国天 | 天然記念物 |
| | | 県天 | 県指定天然記念物 |
| | | 市天 | 市指定天然記念物 |
| 文献・報告書 | 緑の国勢調査 - 自然環境保全調査報告書 - 【環境庁 1976年】 | 貴重 | 貴重な個体植物 |
| | 我が国における保護上重要な植物種の現状 【日本自然保護協会 1989年】 | (Ex) | 絶滅 |
| | | (En) | 絶滅寸前 |
| | | (V) | 危急種 |
| | | (DD) | 現状不明 |
| | 植物版レッドリスト【環境庁 1997年】 | EX | 絶滅 |
| | | EW | 野生絶滅 |
| | | CR | 絶滅危惧 A類 |
| | | EN | 絶滅危惧 B類 |
| | | VU | 絶滅危惧 類 |
| | | NT | 準絶滅危惧 |
| | | DD | 情報不足 |
| | 広島県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックひろしま【広島県 1995年】 | 県EX | 絶滅種 |
| 県E | | 絶滅危惧種 | |
| 県V | | 危急種 | |
| 県R | | 希少種 | |

備考) 選定基準の並び順は、法令関係、調査報告書を分けて発行年度順としている。

表 2-2 特定種の選定基準（動物）一覧表

| 番号 | 法令・文献の名称 | 記号 | カテゴリー区分 |
|--|---|---------|------------|
| 条例・法律 | 文化財保護法（法律第214号）【文化庁 1950年】 | 特天 | 特別天然記念物 |
| | | 国天 | 天然記念物 |
| | | 県天 | 県指定天然記念物 |
| | | 市天 | 市指定天然記念物 |
| | 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（法律第75号）【環境庁 1992年】 | 国希少 | 国内希少野生動植物種 |
| 文献・報告書 | 緑の国勢調査 - 自然環境保全調査報告書 - 【環境庁 1976年】 | 主要 | 主要野生動物 |
| | | 稀少 | 稀少鳥類 |
| | 第2回緑の国勢調査 - 第2回自然環境保全基礎調査報告書 - 【環境庁 1983年】 | 対象 | 調査対象種 |
| | | 重要 | 学術上重要な種 |
| | | 指標 | 指標昆虫類 |
| | | 特定 | 特定昆虫類 |
| | 日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 脊椎動物編, 無脊椎動物編 【環境庁 1991年】 | < E x > | 絶滅種 |
| | | < E > | 絶滅危惧種 |
| | | < V > | 危急種 |
| | | < R > | 希少種 |
| | | < L p > | 地域個体群 |
| | ・哺乳類及び鳥類のレッドリストの見直しについて【環境庁 1998年】 ・汽水・淡水魚類のレッドリストの見直しについて【環境庁 1999年】 ・無脊椎動物（昆虫類、貝類、クモ類、甲殻類等）のレッドリストの見直しについて【環境庁 2000年】 ・改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 3（爬虫類・両生類）【環境庁 2000年】 | E X | 絶滅 |
| | | E W | 野生絶滅 |
| | | C R | 絶滅危惧 A類 |
| | | E N | 絶滅危惧 B類 |
| | | V U | 絶滅危惧 類 |
| N T | | 準絶滅危惧 | |
| D D | | 情報不足 | |
| L P | 地域個体群 | | |
| 広島県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックひろしま【広島県 1995年】 | 県 E X | 絶滅種 | |
| | 県 E | 絶滅危惧種 | |
| | 県 V | 危急種 | |
| | 県 R | 希少種 | |

備考) 選定基準の並び順は、法令関係、調査報告書を分けて発行年度順としている。

本表の文献番号は、文章内およびリスト内において共通とする。

文献 の特定昆虫類は、以下に示すランクに分けられている。

特定 A : 日本国内では、そこにしか産しないと思われる種

特定 B : 分布域が国内の若干の地域に限定されている種

特定 C : 普通種であっても、北限・南限など分布限界になるとと思われる産地に分布する種

特定 D : 当該地域において絶滅の危機に瀕している種

特定 E : 近年当該地域において絶滅したと考えられる種

特定 F : 業者あるいはマニアなどの乱獲により、当該地域での個体数の著しい減少が心配される種

特定 G : 環境指標として適当であると考えられる種

表 2-3 芦田川で確認された魚介類の特定種一覧表

| 区分 | 種名 | 種別 | 確認地点 |
|-----|-------------|------------------------|-------|
| 魚介類 | スジシマドジョウ中型種 | 広島県 希少種 | 確認されず |
| | メダカ | 環境省 絶滅危惧類 広島県 絶滅危惧種 | 下流域 |

表 2-4 芦田川で確認された植物の特定種一覧表

| 区分 | 種名 | 種別 | 確認地点 |
|--------|-----------|---|-----------------------------|
| 植物 | ヤシャゼンマイ | 環境省 貴重な個体植物 | 上流域 |
| | ミズワラビ | 広島県 危急種 | 中流域 |
| | カミガモシダ | 環境省 貴重な個体植物 | 確認されず |
| | バイカイカリソウ | 環境省 貴重な個体植物 | 確認されず |
| | ミヤコアオイ | 日本自然保護協会 危急種 | 上流域 |
| | キシツツジ | 広島県 希少種 | 上流域 |
| | ガガブタ | 環境省 絶滅危惧類 広島県 絶滅危惧種 | 下流域 |
| | ミゾコウジュ | 日本自然保護協会 危急種 環境省 準絶滅危惧 広島県 希少種 | 上流域 中流域 下流域 河口堰湛水域 |
| | カワヂシャ | 環境省 準絶滅危惧 | 上流域 中流域 下流域 |
| | フジバカマ | 日本自然保護協会 絶滅寸前 環境省 絶滅危惧類 広島県 絶滅危惧種 | 中流域 |
| | アギナシ | 環境省 準絶滅危惧 | 中流域 |
| マメツタラン | 環境省 絶滅危惧類 | 確認されず | |

表 2-5 芦田川で確認された鳥類の特定種一覧表

| 区分 | 種名 | 種別 | 確認地点 |
|----|-----------|--|-------------------------------|
| 鳥類 | カンムリカイツブリ | 環境省 希少鳥類 広島県 危急種 | 河口堰湛水域 河口域 |
| | カワウ | 環境省 主要野生動物 | 上流域 下流域 高屋川流域 |
| | ヨシガモ | 環境省 主要野生動物 | 確認されず |
| | ミサゴ | 環境省 希少鳥類 環境省 準絶滅危惧 広島県 危急種 | 上流域 下流域 河口堰湛水域 河口域 |
| | オオタカ | 環境省 国内希少野生動植物種 環境省 希少鳥類 環境省 絶滅危惧類 広島県 絶滅危惧種 | 確認されず |
| | ハヤブサ | 環境省 国内希少野生動植物種 環境省 希少鳥類 環境省 絶滅危惧類 広島県 絶滅危惧種 | 中流域 |
| | カワセミ | 環境省 主要野生動物 | 下流域 河口堰湛水域 河口域 高屋川流域 |

表 2-6 芦田川で確認された底生動物・両生類・爬虫類の特定種一覧表

| 区分 | 種名 | 種別 | 確認地点 |
|------|--------------|----------------------|------------|
| 底生動物 | クルマヒラマキガイ | 環境省 絶滅危惧 類 | 確認されず |
| | コシダカヒメモノアラガイ | 環境省 情報不足 | 高屋川流域 |
| | モノアラガイ | 環境省 準絶滅危惧 | 上流域 下流域 |
| | マツカサガイ | 環境省 準絶滅危惧 | 確認されず |
| | トンガリササノハガイ | 環境省 準絶滅危惧 | 高屋川流域 |
| | スナガニ | 広島県 希少種 | 確認されず |
| | ハクセンシオマネキ | 環境省 準絶滅危惧 広島県 希少種 | 河口域 |
| 両生類 | カジカガエル | 環境省 主要野生動物 | 上流域 中流域 |
| 爬虫類 | スッポン | 環境省 情報不足 | 上流域 中流域 |

表 2-7 芦田川で確認された陸上昆虫の特定種一覧表

| 区分 | 種名 | 種別 | 確認地点 |
|------|---------|---|------------|
| 陸上昆虫 | ゲンバイトンボ | 環境省 当該地域において絶滅の危機に瀕している種 | 上流域 |
| | ハグロトンボ | 環境省 当該地域において絶滅の危機に瀕している種 | 上流域 中流域 |
| | アオマツムシ | 環境省 分布域が国内の若干の地域に限定されている種 | 確認されず |
| | ミズカマキリ | 環境省 当該地域において絶滅の危機に瀕している種 | 上流域 |
| | ヘイケボタル | 環境省 主要野生動物 | 上流域 |
| | ニホンミツパチ | 環境省 分布域が国内の若干の地域に限定されている種 | 確認されず |
| | ナガサキアゲハ | 環境省 普通種であっても北限・南限など分布限界になると思われる産地に分布する種 | 確認されず |

特定種を確認するのに用いた文献

| | | | |
|-------|-------------|----------|-----------------|
| 植物 | ： 河川水辺の国勢調査 | 平成 10 年度 | 芦田川水系植物調査報告書 |
| 魚介類 | ： 河川水辺の国勢調査 | 平成 13 年度 | 芦田川水系魚介類調査報告書 |
| 底性動物 | ： 河川水辺の国勢調査 | 平成 13 年度 | 芦田川水系底生動物調査報告書 |
| 鳥類 | ： 河川水辺の国勢調査 | 平成 11 年度 | 芦田川水系鳥類調査報告書 |
| 小動物 | ： 河川水辺の国勢調査 | 平成 12 年度 | 芦田川水系両生類等業務報告書 |
| 陸上昆虫類 | ： 河川水辺の国勢調査 | 平成 9 年度 | 芦田川水系陸上昆虫類調査報告書 |
| 瀬淵等 | ： 河川水辺の国勢調査 | 平成 10 年度 | 芦田川水系河川調査報告書 |

表 2-8 区間毎の主な環境要素と河川環境を特徴づける種及び集団分布地、繁殖地

| 区域 | 主な環境の構成要素 | 河川環境を特徴づける種 | 集団分布地、繁殖（産卵）地、ねぐら |
|-------------------------|--|---|------------------------------|
| 上流域 28k000 ~ 43k200 | 水域 ・早瀬、淵 陸域 ・中州、寄州、ツルヨシ・クサヨシ | 魚介類：イカリ、カムツビ型、アユ、カヨシホリ 底生動物：ツバコガク、ウツミ、シロツツジ 植物：カサネ、ミヅコウジ、カサネノキ、キツツジ 鳥類：カガラス、キキレイ、カワ、カセミ、ミサゴ 両爬虫：カサガエ、トカゲ、クサガメ、スズメ、アサギ | 確認されず |
| 中流域 13k300 ~ 28k000 | 水域 ・早瀬、淵 陸域 ・中州、寄州、ツルヨシ・ササキ・ヤナギ | 魚介類：コイ、ゲンゴロウナ、アユ、メダカ 底生動物：サマキガイ、シイシビル 植物：ツルヨシ、ササキ、ミズウラボシ、カサネ、アサギ、ミヅコウジ 鳥類：カガモ、カイツブリ、サギ類、オオソリ 両爬虫：トサマガエ、カサガエ、スズメ、タヌキ | 鳥類：サギ類の集団ねぐら |
| 下流域 5k500 ~ 13k300 | 水域 ・川幅大きく、緩やかな流れ 陸域 ・中州、人工草地・人工裸地 | 魚介類：ハス、イカリ、メダカ、サコ類 底生動物：ヒメニシ、トナリガイ、モリアライ 植物：ササキ、ヨシ、セイケヨシ、カサネ、カサネ、ミヅコウジ 鳥類：カガモ、サギ類、オオソリ 両爬虫：カエル類 | 鳥類：カガモの集団分布地 サギ類の集団繁殖地 |
| 河口堰湛水域 1k280 ~ 5k500 | 水域 ・湛水域 陸域 ・人工草地・人工裸地 | 魚介類：ゲンゴロウナ、ハス、ブルキル、ブラックバス 底生動物：サマキガイ、ハブタイモリアライ 植物：ヨシ、セイケヨシ、ミヅコウジ 鳥類：カサガエ、カガモ、ミサゴ、カセミ、カサネ | 鳥類：カサガエの集団分布地 ヒトリガモの集団分布地 |
| 河口域 -2k120 ~ 1k280 | 水域 ・汽水域 陸域 ・干潟 | 魚介類：ホウ、メダカ、ヒレ 植物：オニヤブ、ウツミ、カサネ 鳥類：アサギ、カイツブリ、カガモ、ウミネコ | 鳥類：カガモの集団分布地 カイツブリの集団分布地 |
| 高屋川 0k000 ~ 7k600 | 水域 ・一様で緩やかな流れ 陸域 ・寄州 | 魚介類：サコ類、コウライコイ、ハス 底生動物：カサネ、トナリガイ、カサネ、カサネ 植物：セイケヨシ、カサネ、カサネ 鳥類：カガモ、サギ類、カワ、カセミ 両爬虫：カエル類、キツ | 鳥類：サギ類の集団繁殖地 ヒトリガモの集団分布地 |

下線は特定種を示す。

2-3 特徴的な河川景観や文化財等

(1) 特徴的な河川景観

芦田川は、備後地方の中心に位置し、悠久の歴史を有する河川であり、周辺住民の生活と深く関わり合いながら今日の河川景観を形成してきた。上流域では河佐峡を代表とする自然が創り出した景観美を多くの人々が親しみ、中流域では潜り橋等の特徴的な構造物が芦田川の景観に彩りを加え、下流域では河口堰建設によって形成された湛水域においてボート等のレジャーに活用される等、流域を通して豊かな河川景観を提供している。



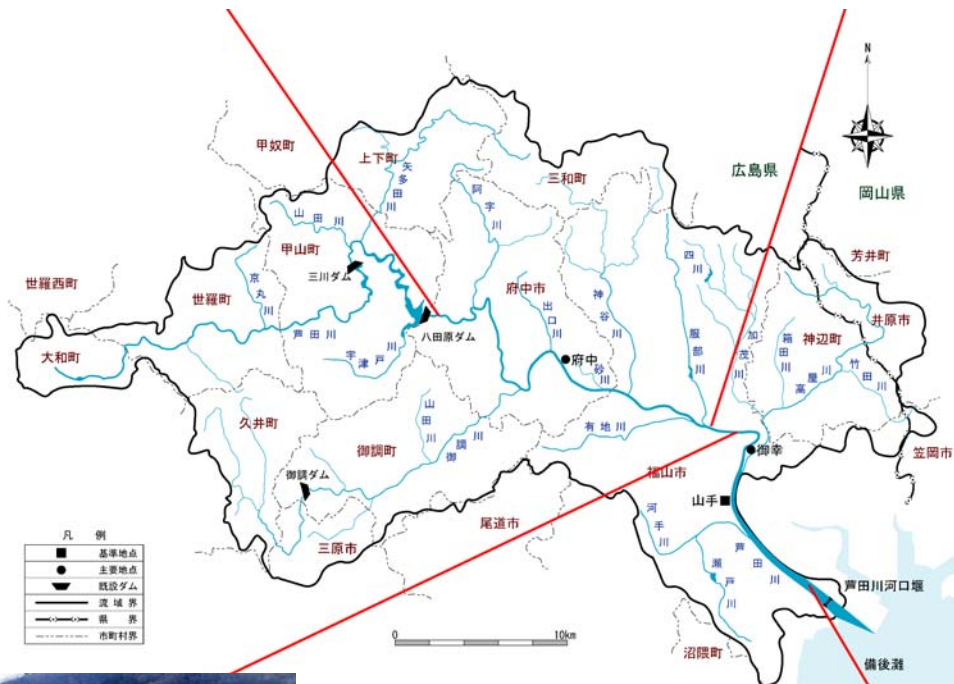
河佐峡

出典：福山河川国道事務所資料



芦田川の夕暮れ

出典：福山河川国道事務所資料



潜り橋

出典：福山河川国道事務所資料



河口堰湛水域

出典：福山河川国道事務所資料

(2) 文化財及び遺跡等

文化財

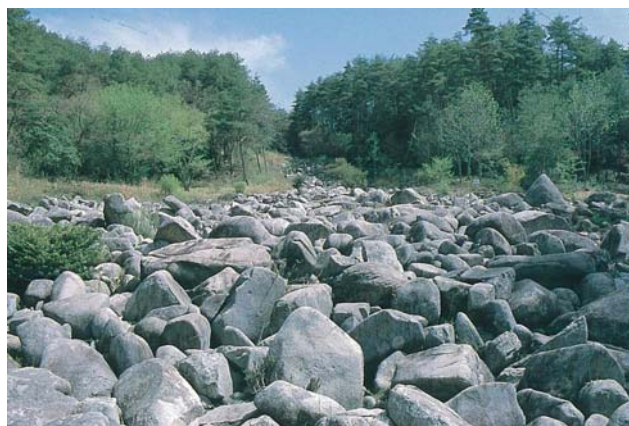
芦田川流域内では、国指定の文化財が 19 箇所、県指定が 122 箇所ある。このうち国指定の天然記念物として、久井の岩海等がある。

国宝明王院は、草戸大橋の北西、芦田川の西岸にある真言宗大覚寺派の寺である。大同 2 年(807)弘法大師空海の開基と伝えられ、西光山理智院浄福寺と称して真言立宗で奉仕されたと言われている。江戸時代初めの承応 4 年(1655)、福山藩水野氏 3 代勝貞によって、北東約 1 km にあった明王院と併合され、この時に中道山円光密寺明王院と改称された。



国宝明王院

出典：福山河川国道事務所資料



久井の岩海

出典：福山河川国道事務所資料

2-9 国指定文化財一覧表

| 番号 | 種別 | 種類 | 名称 | 所在地 | 指定年月日 |
|----|-----|-------|----------------------------|----------------|-----------|
| 1 | 国宝 | 建造物 | 明王院本堂 | 福山市 | S39.5.26 |
| 2 | 国宝 | 建造物 | 明王院五重塔 | 福山市 | S28.3.31 |
| 3 | 重文 | 彫刻 | 木造十一面観音立像 | 福山市（明王院） | M32.8.1 |
| 4 | 重文 | 彫刻 | 木造狛犬 | 三原市（御調八幡宮） | T6.8.13 |
| 5 | 重文 | 彫刻 | 木造行道面 附木造菩薩面 | 三原市（御調八幡宮） | H14.6.26 |
| 6 | 重文 | 歴史資料 | 阿弥陀経版木・法華経普門品板木・金剛寿命陀羅尼経板木 | 三原市（御調八幡宮） | S60.6.6 |
| 7 | 記念物 | 特別史跡 | 廉塾ならびに菅茶山旧宅 | 神辺町 | S28.3.31 |
| 8 | 重文 | 建造物 | 吉備津神社本殿 | 福山市（吉備津神社） | S40.5.29 |
| 9 | 重文 | 彫刻 | 木造狛犬 | 福山市（吉備津神社） | S17.12.22 |
| 10 | 重文 | 工芸品 | 毛抜形太刀 | 福山市（吉備津神社） | T4.3.26 |
| 11 | 記念物 | 史跡 | 一宮（桜山慈俊拳兵伝説地） | 福山市 | S9.3.13 |
| 12 | 重文 | 彫刻 | 木造仏涅槃像 | 御調町（照源寺） | S24.2.18 |
| 13 | 記念物 | 天然記念物 | 久井・矢野の岩海 | 久井町、上下町 | S39.6.27 |
| 14 | 重文 | 彫刻 | 木造十一面観音立像 | 甲山町（龍華寺） | S3.8.17 |
| 15 | 重文 | 彫刻 | 木造十一面観音立像 | 甲山町（廃報恩寺仏像収蔵庫） | S19.9.5 |
| 16 | 重文 | 彫刻 | 木造聖観音立像 | 甲山町（廃報恩寺仏像収蔵庫） | S19.9.5 |
| 17 | 重文 | 彫刻 | 木造獅子頭 | 甲山町（丹生神社） | S39.1.28 |
| 18 | 重文 | 彫刻 | 木造地藏菩薩立像 | 井原市（高山寺） | M34.8.2 |
| 19 | 重文 | 彫刻 | 木造不動明王坐像 | 井原市（高山寺） | M34.8.2 |

重文：重要文化財、有民：有形民俗文化財、無民：無形民俗文化財

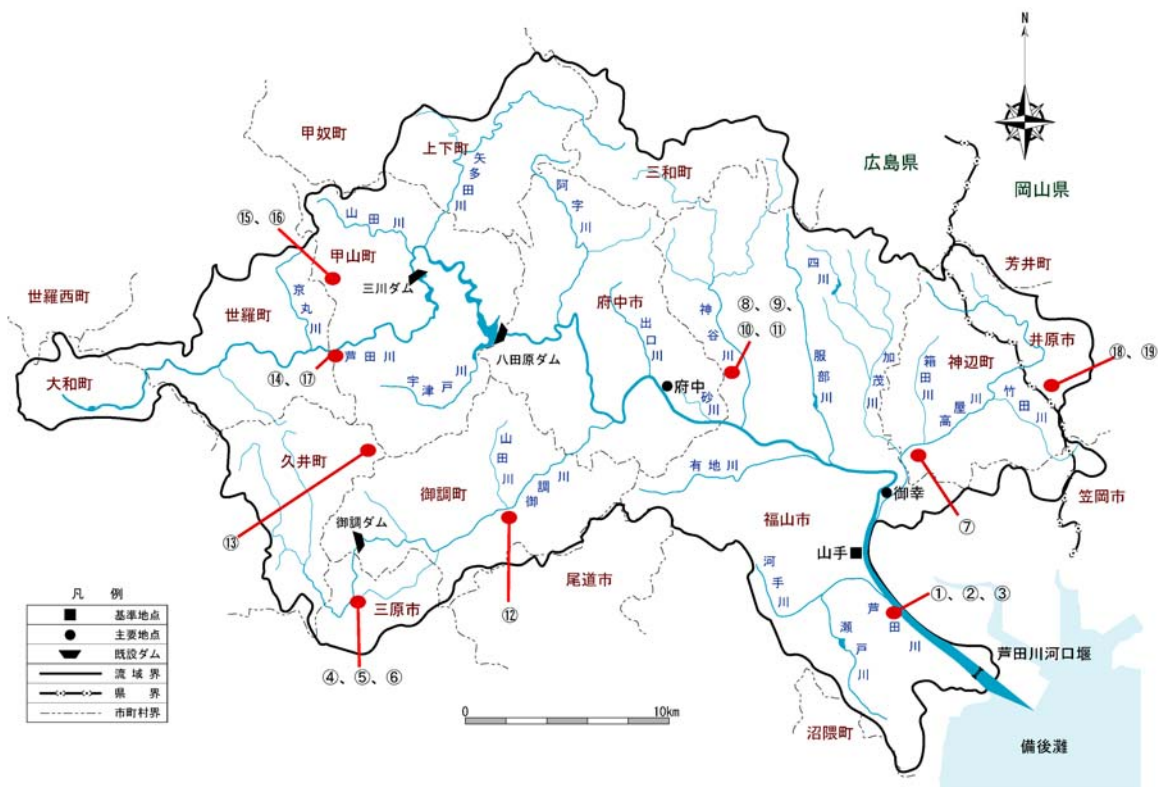


図 2-2 芦田川水系の国指定文化財 位置図

表 2-10(1) 県指定文化財一覧表

| 番号 | 種別 | 種類 | 名称 | 所在地 | 指定年月日 |
|----|-----|-----------|-------------------------|------------------|-----------|
| 1 | 重文 | 建造物 | 明王院山門 | 福山市（明王院） | S30.3.30 |
| 2 | 重文 | 建造物 | 明王院書院 | 福山市（明王院） | S37.3.29 |
| 3 | 重文 | 建造物 | 明王院庫裏 | 福山市（明王院） | S37.3.29 |
| 4 | 重文 | 絵画 | 絹本着色浄土真宗明光派先徳像 | 福山市（明泉寺） | S38.11.4 |
| 5 | 重文 | 絵画 | 絹本着色不動明王像 | 福山市（福盛寺） | S46.4.30 |
| 6 | 重文 | 彫刻 | 木造多聞天立像 | 福山市（田辺寺） | S29.9.29 |
| 7 | 重文 | 彫刻 | 木造阿弥陀如来坐像 | 福山市（福成寺） | S47.4.24 |
| 8 | 重文 | 彫刻 | 木造仁王立像 | 福山市（福盛寺） | S57.2.23 |
| 9 | 重文 | 工芸品 | 金銅五鈷鈴 | 福山市（福盛寺） | S30.3.30 |
| 10 | 重文 | 工芸品 | 姫谷焼色絵皿 | 福山市 | S46.4.30 |
| 11 | 重文 | 書跡・典籍・古文書 | 西備名区 | 福山市 | S48.4.28 |
| 12 | 重文 | 考古資料 | 廃和光寺塔址出土遺物 | 福山市 | S29.9.29 |
| 13 | 重文 | 考古資料 | 平形銅剣 | 福山市 | S32.9.30 |
| 14 | 記念物 | 史跡 | 姫谷焼窯跡 | 福山市 | S53.10.4 |
| 15 | 記念物 | 史跡 | 熊野の古代土器窯跡 | 福山市 | S15.2.23 |
| 16 | 記念物 | 史跡 | 田辺寺塔跡 | 福山市（田辺寺） | S18.3.26 |
| 17 | 記念物 | 史跡 | 山の神古墳 | 福山市 | S24.8.2 |
| 18 | 記念物 | 史跡 | 二子塚古墳 | 福山市 | S24.8.2 |
| 19 | 記念物 | 史跡 | 大迫古墳 | 福山市 | S24.8.2 |
| 20 | 記念物 | 史跡 | 猪ノ子古墳 | 福山市（江木神社境内） | S25.9.16 |
| 21 | 記念物 | 史跡 | 馬屋原重帯の寿蔵碑 | 福山市 | S40.4.30 |
| 22 | 記念物 | 史跡 | 曾根田白塚古墳 | 福山市 | S56.4.17 |
| 23 | 記念物 | 史跡 | 北塚古墳 | 福山市 | S63.12.26 |
| 24 | 記念物 | 史跡 | 石鎚山古墳群 | 福山市 | H4.10.29 |
| 25 | 記念物 | 名勝 | 龍頭峽 | 福山市 | S29.1.26 |
| 26 | 記念物 | 天然記念物 | 福山衝上断層 | 福山市 | S44.4.28 |
| 27 | 有民 | その他 | 田尻民俗資料（1022点） | 福山市 | S51.6.29 |
| 28 | 無民 | その他 | 二上りおどり | 福山市 | S36.4.18 |
| 29 | 無民 | その他 | はねおどり | 福山市（田尻八幡神社） | S46.4.30 |
| 30 | 重文 | 彫刻 | 木造男神坐像 | 三原市（御調八幡宮） | S45.5.14 |
| 31 | 重文 | 書跡・典籍・古文書 | 紙本墨書出三蔵記集録 上巻第二 | 三原市（御調八幡宮） | S38.4.27 |
| 32 | 重文 | 書跡・典籍・古文書 | 紺紙金泥大般若経 | 三原市（御調八幡宮） | S42.5.8 |
| 33 | 重文 | 考古資料 | 銅戈 | 三原市（御調八幡宮） | S38.4.27 |
| 34 | 記念物 | 天然記念物 | 八幡のクロガネモチ | 三原市 | S36.11.1 |
| 35 | 無民 | その他 | 御調八幡宮の花おどり | 三原市（御調八幡宮） | S40.10.29 |
| 36 | 記念物 | 天然記念物 | 御調八幡宮の社叢 | 三原市 | S45.1.30 |
| 37 | 重文 | 建造物 | 神辺本陣 | 神辺町 | S44.4.28 |
| 38 | 重文 | 工芸品 | 銅製鱧口 | 神辺町（蓮乗院） | S55.6.24 |
| 39 | 重文 | 書跡・典籍・古文書 | 葛原句当日記 | 神辺町（菅茶山記念館） | S50.4.8 |
| 40 | 重文 | 書跡・典籍・古文書 | 菅波信道一代記 | 神辺町 | H14.2.14 |
| 41 | 重文 | 考古資料 | 迫山第一号古墳出土品 | 神辺町（神辺町立歴史民俗資料館） | S62.3.30 |
| 42 | 記念物 | 史跡 | 菅茶山之墓 | 神辺町 | S15.2.23 |
| 43 | 記念物 | 史跡 | 龜山弥生式遺跡 | 神辺町 | S24.10.28 |
| 44 | 記念物 | 史跡 | 神辺本陣 | 神辺町 | S26.7.10 |
| 45 | 記念物 | 史跡 | 大坊古墳 | 神辺町 | S58.11.7 |
| 46 | 記念物 | 史跡 | 迫山第一号古墳 | 神辺町 | S61.11.25 |
| 47 | 記念物 | 天然記念物 | 竹田のゲンジボタル及びその発生地 | 神辺町 | S33.8.1 |
| 48 | 重文 | 建造物 | 廃万福寺塔婆（七層石塔婆） | 世羅町（廃万福寺跡） | S29.9.29 |
| 49 | 重文 | 彫刻 | 木造十一面観音立像 | 世羅町（大御堂） | S28.6.23 |
| 50 | 重文 | 彫刻 | 木造阿弥陀如来座像 | 世羅町（善法寺） | S29.9.29 |
| 51 | 重文 | 彫刻 | 木造薬師如来坐像及び残欠 | 世羅町（善法寺） | S29.9.29 |
| 52 | 重文 | 彫刻 | 木造阿弥陀如来坐像 | 世羅町（永寿寺） | S53.10.4 |
| 53 | 重文 | 書跡・典籍・古文書 | 紙本墨書大般若経 | 世羅町（永寿寺） | S50.9.19 |
| 54 | 記念物 | 史跡 | 康徳寺古墳 | 世羅町 | S15.2.23 |
| 55 | 記念物 | 史跡 | 万福寺跡 | 世羅町 | S15.2.23 |
| 56 | 記念物 | 史跡 | 神田第二号古墳 | 世羅町 | S61.11.25 |
| 57 | 重文 | 建造物 | 宝篋印塔 | 福山市 | S33.1.18 |
| 58 | 重文 | 建造物 | 吉備津神社神楽殿 | 福山市（吉備津神社） | H9.5.19 |
| 59 | 重文 | 工芸品 | 銅製錫杖頭 | 福山市（吉備津神社） | S33.1.18 |
| 60 | 重文 | 考古資料 | 伝潮崎山古墳出土三角縁五神四獣鏡及び短冊型鉄斧 | 福山市 | S57.2.23 |

出典：この資料は、「広島県の文化財」のインターネットより引用したものである。

重文：重要文化財、有民：有形民俗文化財、無民：無形民俗文化財

表 2-10(2) 県指定文化財一覧表

| 番号 | 種別 | 種類 | 名称 | 所在地 | 指定年月日 |
|-----|-----|-----------|-----------------|----------------|-----------|
| 61 | 記念物 | 史跡 | 宮脇石器時代遺跡 | 福山市 | S24.8.2 |
| 62 | 記念物 | 史跡 | 大佐山白塚古墳 | 福山市 | S24.8.2 |
| 63 | 記念物 | 史跡 | 神谷川弥生式遺跡 | 福山市 | S44.4.28 |
| 64 | 記念物 | 史跡 | 相方城跡 | 福山市 | H7.1.23 |
| 65 | 無民 | その他 | 備後府中荒神神楽 | 福山市、府中市 | S52.9.14 |
| 66 | 重文 | 建造物 | 青目寺塔婆(五層石塔婆) | 府中市(青目寺) | S30.3.30 |
| 67 | 重文 | 建造物 | 日吉神社宝塔 | 府中市(日吉神社) | S32.2.5 |
| 68 | 重文 | 絵画 | 絹本着色釈迦十六善神像 | 府中市 虚空蔵院(神宮寺) | H6.10.31 |
| 69 | 重文 | 彫刻 | 木心乾漆日光菩薩立像 | 府中市(青目寺) | S30.3.30 |
| 70 | 重文 | 彫刻 | 木心乾漆月光菩薩立像 | 府中市(青目寺) | S30.3.30 |
| 71 | 重文 | 彫刻 | 木造聖観音立像 | 府中市(青目寺) | S40.4.30 |
| 72 | 重文 | 彫刻 | 木造天部立像 | 府中市(青目寺) | S40.4.30 |
| 73 | 重文 | 彫刻 | 木造阿弥陀如来坐像 | 府中市(栄明寺) | H7.9.21 |
| 74 | 重文 | 工芸品 | 金銅仏具 | 府中市(栄明寺(収蔵庫)) | S28.8.11 |
| 75 | 重文 | 書跡・典籍・古文書 | 版本大般若経 | 府中市(虚空蔵院(神宮寺)) | S29.11.11 |
| 76 | 重文 | 書跡・典籍・古文書 | 五輪塔形曳覆曼荼羅版木 | 府中市(青目寺) | H7.1.23 |
| 77 | 記念物 | 史跡 | 青目寺跡 | 府中市 | S15.2.23 |
| 78 | 記念物 | 史跡 | 伝吉田寺跡 | 府中市 | S18.3.26 |
| 79 | 記念物 | 天然記念物 | 行藤八幡神社の大木群 | 府中市(行藤八幡神社) | H3.12.12 |
| 80 | 重文 | 彫刻 | 木造地藏菩薩坐像 | 御調町(円光寺) | S50.9.19 |
| 81 | 重文 | 彫刻 | 木造持国天立像 | 御調町(北之坊) | S50.9.19 |
| 82 | 重文 | 考古資料 | 貝ヶ原遺跡出土の特殊器台形土器 | 御調町 | S60.12.21 |
| 83 | 記念物 | 天然記念物 | 菅のムクノキ | 御調町 | S59.1.23 |
| 84 | 無民 | その他 | みあがりおどり | 御調町 | S41.4.28 |
| 85 | 無民 | その他 | 神楽 | 御調町 | S46.12.23 |
| 86 | 重文 | 書跡・典籍・古文書 | 紙本墨書大般若経 | 久井町(久井稲生神社) | S42.5.8 |
| 87 | 記念物 | 史跡 | 杭の牛市跡 | 久井町 | S61.12.8 |
| 88 | 記念物 | 天然記念物 | 吉田のギンモクセイ | 久井町 | S61.11.25 |
| 89 | 記念物 | 天然記念物 | 筋原のオガタマノキ | 久井町 | S61.11.25 |
| 90 | 有民 | その他 | 久井町の節句どろ人形 | 久井町 | S39.10.3 |
| 91 | 無民 | その他 | 稲生神社ぎおん祭のおどり | 久井町(稲生神社) | S36.4.18 |
| 92 | 重文 | 建造物 | 石造宝篋印塔 | 上下町 | S38.4.27 |
| 93 | 重文 | 彫刻 | 木造薬師如来坐像 | 上下町 | S54.3.26 |
| 94 | 記念物 | 史跡 | 天領上下代官所跡 | 上下町 | S16.3.10 |
| 95 | 記念物 | 史跡 | 南山古墳 | 上下町 | H1.3.20 |
| 96 | 記念物 | 天然記念物 | 井永のアサガラ | 上下町 | S60.12.2 |
| 97 | 記念物 | 天然記念物 | 井永のシラカシ | 上下町(井永八幡神社) | S60.12.2 |
| 98 | 記念物 | 天然記念物 | 矢野のケンボナシ | 上下町(福泉寺) | S60.12.2 |
| 99 | 記念物 | 天然記念物 | 国留のヤブツバキ | 上下町 | H7.9.21 |
| 100 | 無民 | その他 | 弓神楽 | 上下町 | S46.12.23 |
| 101 | 無民 | その他 | 矢野の神儀 | 上下町 | S51.6.29 |
| 102 | 重文 | 建造物 | 結界石 | 甲山町(龍華寺) | S28.6.23 |
| 103 | 重文 | 建造物 | 安楽院本堂 | 甲山町(龍華寺) | S30.1.31 |
| 104 | 重文 | 建造物 | 粟島神社鳥居 | 甲山町(龍華寺) | S32.2.5 |
| 105 | 重文 | 建造物 | 今高野山総門 | 甲山町 | S34.10.30 |
| 106 | 重文 | 建造物 | 万年寺僧侶墓碑 | 甲山町(三川ダム) | S34.10.30 |
| 107 | 重文 | 絵画 | 絹本着色弘法大師画像 | 甲山町(龍華寺) | S28.6.23 |
| 108 | 重文 | 絵画 | 絹本着色十六善神像 | 甲山町(龍華寺) | S53.10.4 |
| 109 | 重文 | 彫刻 | 木造大日如来坐像 | 甲山町(龍華寺) | S28.6.23 |
| 110 | 重文 | 彫刻 | 木造狛犬 | 甲山町(井原八幡神社) | S30.9.28 |
| 111 | 重文 | 工芸品 | 三鈷 | 甲山町(龍華寺) | S28.6.23 |
| 112 | 重文 | 工芸品 | 独鈷 | 甲山町(龍華寺) | S28.8.11 |
| 113 | 重文 | 工芸品 | 戸張 | 甲山町(東上原八幡神社) | S32.2.5 |
| 114 | 重文 | 工芸品 | 太鼓 | 甲山町(東上原八幡神社) | S41.4.28 |
| 115 | 記念物 | 史跡 | 今高野山 | 甲山町 | H11.4.19 |
| 116 | 記念物 | 天然記念物 | 赤屋八幡神社の社叢 | 甲山町(赤屋八幡神社) | S26.4.6 |
| 117 | 記念物 | 天然記念物 | 男鹿山スズラン南限地 | 甲山町 | S26.4.6 |
| 118 | 記念物 | 天然記念物 | 今高野山のカラマツ | 甲山町(今高野山龍華寺境内) | S30.1.31 |
| 119 | 記念物 | 天然記念物 | 宇津戸領家八幡神社の社叢 | 甲山町(宇津戸領家八幡神社) | S46.4.30 |
| 120 | 重文 | 彫刻 | 木造十一面観音立像 | 井原市(高山寺) | S31.7.3 |
| 121 | 重文 | 彫刻 | 木造金剛力士立像 | 井原市(金敷寺・金嶋寺) | H1.4.4 |
| 122 | 重文 | 工芸品 | 梵鐘 | 井原市(高山寺) | S34.3.27 |

出典：この資料は、「広島県の文化財」のインターネットより引用したものである。

重文：重要文化財、有民：有形民俗文化財、無民：無形民俗文化財

遺跡等

芦田川流域は、草戸千軒町を代表とする中世の遺跡等の歴史的資産に恵まれている。

江戸時代中期の地誌「備陽六郡志」^{びようろくぐんし}に、寛文13年(1673)の洪水で千軒の町家が押し流されたと記された伝説の町「草戸千軒」は大正末期に始まる芦田川の改修工事によって発見された。改修工事中の昭和5年に中州の土砂を掘削して堤防を築き始めたところ、五輪塔^{ごりんとう}や宝篋印塔^{ほうきょういんとう}とともに陶磁器や古銭等が多数出土した。

草戸千軒では、中世の町の遺構の下から、古代の土器がかなりの量が出土されている。主なものとして、土師器^{はじま}・丹塗土師器^{にぬり}・黒色土器・須恵器・緑釉陶器^{りよくゆう}等がある。

福山市教育委員会によって学術的な発掘調査が開始したのは、昭和36、37年のことである。その後、昭和48年に草戸千軒町遺跡調査所(後の調査研究所)を設置して、さらに調査が続けられることとなった。

その結果、中世の瀬戸内に発達した都市民衆の生活文化が次第に明らかになってきた。

発掘された多くの出土品は現在、広島県立歴史博物館に展示されている。



草戸千軒町遺跡

出典：福山河川国道事務所資料



草戸千軒町遺跡第24次調査区全景



草戸千軒町遺跡発掘調査風景



俵



横杵



土師質土器と陶器



銭甕の出土状況

出典(全ての写真):「広島県立歴史博物館 展示案内」

広島県立歴史博物館蔵

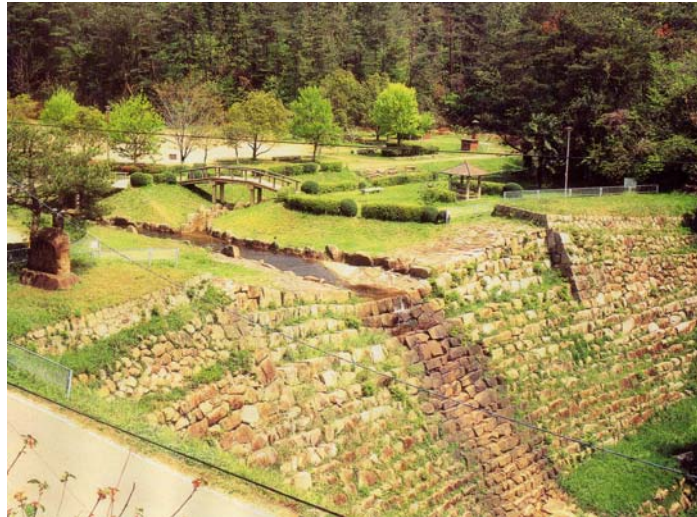
その他

堂々川^{どうどうがわ}は深安郡神辺町大字東中条東山に源を発し、一級河川芦田川の支川高屋川に合流する延長 4km の溪流である。流域の地質のほとんどは白亜紀の黒雲母花崗岩と流紋岩であるが、特に花崗岩は深層まで風化し、表土が流出しやすい状況にあり、度々災害に見舞われている。

江戸時代の記録に、寛永 18 年(1641)の台風災害を憂えて藩主から家老に当たった文書が伝えられているが、この頃から土砂災害が顕著に現れ始めている。福山藩は藩の重要施策として、広域にわたって砂防工事を実施しており、堂々川を含めて砂留と呼ばれる砂防ダム 28 基築造している。

江戸時代の砂防工事については不明な点が多いが、福山城博物館所蔵の「三谷家文書」から天保年間の砂留普請記録が見つかり、江戸時代の砂防工事の一端を知る貴重な資料となっている。

堂々川砂留は 1 番から 6 番までであるが、中でも最上流に位置する 6 番砂留は、天保 6 年(1835)施工の記録がある古い砂留であり規模も大きい。城壁を思わせる石垣は現在も健在で、往時の築造技術の確かさを示している。



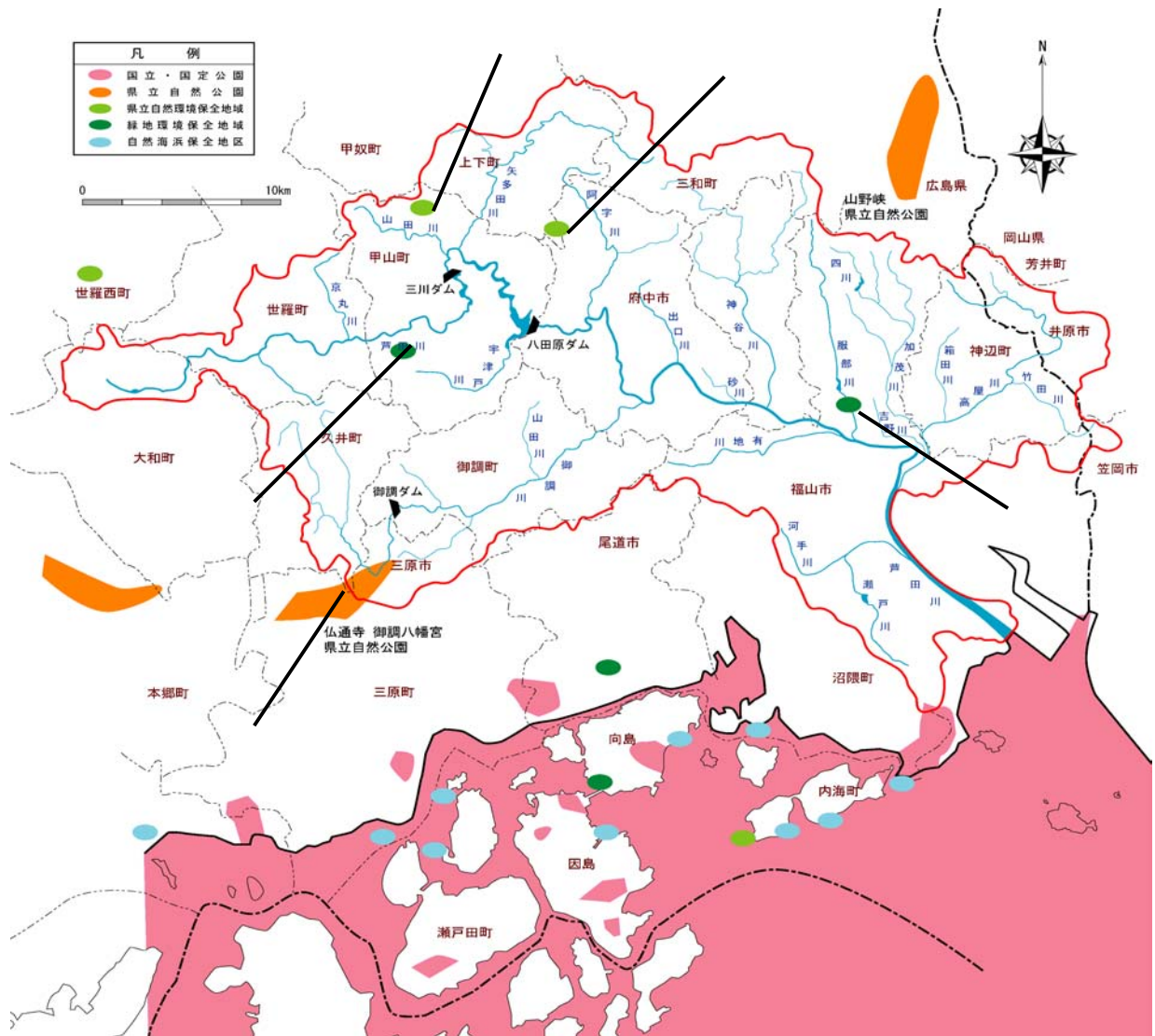
堂々川 6 番砂留

出典：「広島県 堂々川の砂防」

広島県土木建築部砂防課パンフレット

2-4 自然公園等の指定状況

芦田川流域内には、県自然環境保全地域が 2 箇所、緑地環境保全地域が 2 箇所、県立自然公園が 1 箇所（仏通寺 御調八幡宮県立自然公園）指定されている。



出典：福山河川国道事務所資料

図 2-3 芦田川流域の自然公園

表 2-11 芦田川流域内の自然公園

| 指定種類 | 保全地域・公園名 | 指定年月日 |
|-----------|---------------------------------|-------------|
| 県自然環境保全地域 | だけやま 岳山県自然環境保全地域 | 昭和 54.12.1 |
| | おじかやま 男鹿山県自然環境保全地域 | 昭和 51.12.24 |
| 緑地環境保全地域 | だいぼう 大坊緑地環境保全地域 | 昭和 48.10.25 |
| | いまこうやさん 今高野山緑地環境保全地域 | 昭和 60.3.30 |
| 県立自然公園 | ぶつづじみつきはちまんくう 佛通寺御調八幡宮県立自然公園 | 昭和 46.11.23 |